

文書分類番号	00	09	03	002	永 年	起案	令和元年	月	日	決裁	令和元年	月	日
議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	主 査	担 当	文書取扱主任						

第 4 回 厚生常任委員会 会議録

開催年月日		令和元年8月23日（金曜日）		開会 12時56分		閉会 14時46分		
開催場所		第一委員会室						
出席委員		三上、佐々木、堀、木下、山口、山本、安樂、田村、				事務局	竹谷事務局長	
		水口、東元、議長、副議長					菊田次長	
欠席委員							村井係長	
説明員		別紙のとおり			議 件		別紙のとおり	
議 事 の 概 要	1 所管からの報告事項について							
	次の事項について所管から説明を受け、質疑を行い、全て報告済みとした。							
	○ 滝川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況及び次期戦略策定について							
	(1) 滝川市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について							
	(2) 令和元年度一般会計補正予算について							
	(3) 令和元年度介護保険特別会計補正予算について							
	(4) 令和元年度一般会計補正予算について							
	・過年度過誤納還付金について							
	・障害者自立支援給付審査支払等システム改修について							
	・生活保護電算システム改修について							
	(5) 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について							
	(6) 幼児教育・保育の無償化について							
	(7) 令和元年度一般会計補正予算について							
	(8) 滝川市における子ども・子育て支援法第87条の規定に基づく過料に関する条例及び 滝川市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する条例の一部を改正 する条例について							
	(9) 滝川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する条例の一部を改正する条例について							
	(10) 滝川市こども発達支援センター条例等の一部を改正する条例について							
	(11) 経営状況について							
	(12) 交通事故裁判（補助参加）における債務不存在確認請求訴訟の提起について							
	(13) 高等教育の修学支援制度の適用について（滝川市立高等看護学院）							
(14) ふれあいフェスタの開催について								
2 第3回定例会以降の調査事項について								
別紙調査項目のとおりとすることに決定した。								

令和元年 8 月 21 日

滝川市議会議長 関 藤 龍 也 様

滝川市長 前 田 康 吉

厚生常任委員会への説明員の出席について

令和元年 8 月 2 日付け滝議第 62 号にて通知のありました第 4 回厚生常任委員会への説明員の出席要求について、次の者を説明員として出席させますのでよろしくお願いします。

なお、公務等の都合により出席を予定している説明員が欠席する場合もありますので申し添えます。この場合、必要があるときは、所管の担当者を出席させますのでよろしくお願いします。

記

滝川市長の委任を受けた者

総務部長	中 島 純 一
総務部企画課長	諏 佐 孝
総務部企画課長補佐	越 前 智香子
総務部企画課係長	山 本 健 裕
市民生活部長	浦 川 学 央
市民生活部くらし支援課長	小 畑 力 也
市民生活部くらし支援課長補佐	近 藤 誕 樹
市民生活部くらし支援課係長	本 所 和 久
市民生活部くらし支援課主任主事	山 本 亜希子
市民生活部市民課長	鳩 山 稔
市民生活部市民課長補佐	岩 本 美 鈴
市民生活部市民課係長	西 郷 知 拓
保健福祉部長	国 嶋 隆 雄
保健福祉部福祉課長	和 田 英 昭
保健福祉部福祉課長補佐	山 本 真紀子
保健福祉部福祉課係長	林 裕 樹
保健福祉部福祉課係長	古 山 貴 昭
保健福祉部福祉課主査	大 道 典 史
保健福祉部福祉課係長	高 木 裕 子
保健福祉部子育て応援課長	前 田 昌 敏
保健福祉部子育て応援課係長	井 谷 永里子
保健福祉部子育て応援課係長	石 黒 靖 久
保健福祉部子育て応援課主任主事	安 樂 優 妃
保健福祉部子育て応援課こども発達支援センター所長	村 井 新 知
保健福祉部介護福祉課長	中 川 祐 介

保健福祉部介護福祉課長補佐
保健福祉部介護福祉課係長
保健福祉部健康づくり課長
市立病院事務部長
市立病院事務部事務課長
市立病院事務部事務課長補佐
市立病院事務部事務課係長
市立病院事務部事務課係長
市立病院事務部事務課主査
市立病院事務部医事課長
市立病院事務部医事課長補佐
市立病院高等看護学院教務課長補佐

土 橋 祐 二
木 村 雅 人
森 昌 之
椿 真 人
堀 勝 一
金 子 和 史
鎌 塚 芳 奈
畑 原 秀 樹
高 林 宏 光
青 山 和 美
矢 野 健 介
大 島 ゆかり

(総務部総務課法制文書係)

第4回 厚生常任委員会

日 時 令和元年8月23日(金)
午後1時00分～
場 所 第一委員会室

○ 開 会

○ 委員長挨拶(委員動静)

1 所管からの報告事項について(◎印は議案関連)

○ 滝川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況及び次期戦略策定について(資料)企画課

《市民生活部》

- ◎(1) 滝川市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について (資料) 市民課
- ◎(2) 令和元年度一般会計補正予算について (資料) くらし支援課

《保健福祉部》

- ◎(3) 令和元年度介護保険特別会計補正予算について (資料) 介護福祉課
- ◎(4) 令和元年度一般会計補正予算について (資料) 福祉課
 - ・過年度過誤納還付金について
 - ・障害者自立支援給付審査支払等システム改修について
 - ・生活保護電算システム改修について
- ◎(5) 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について (資料) 福祉課
- (6) 幼児教育・保育の無償化について (資料) 子育て応援課
- ◎(7) 令和元年度一般会計補正予算について (資料) 子育て応援課
- ◎(8) 滝川市における子ども・子育て支援法第87条の規定に基づく過料に関する条例及び滝川市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する条例の一部を改正する条例について (資料) 子育て応援課
- ◎(9) 滝川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する条例の一部を改正する条例について (資料) 子育て応援課
- ◎(10) 滝川市こども発達支援センター条例等の一部を改正する条例について (資料) 子育て応援課

《市立病院》

- (11) 経営状況について (資料) 事務課
- (12) 交通事故裁判(補助参加)における債務不存在確認請求訴訟の提起について (資料) 事務課
- (13) 高等教育の修学支援制度の適用について(滝川市立高等看護学院) (資料) 事務課
- (14) ふれあいフェスタの開催について (資料) 事務課

2 第3回定例会以降の調査事項について～別紙

3 その他について

4 次回委員会の日程について

○ 閉 会

第 4 回 厚生常任委員会

R1.8.23 (金)13:00～

第 一 委 員 会 室

開 会 12:56

委 員 長 第4回厚生常任委員会を開会します。

委員動静報告

委 員 長 委員については、全員が出席。正副議長が出席。傍聴は寄谷議員。

1 所管からの報告事項について

委 員 長 初めに滝川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況と次期戦略策定について説明願います。

○滝川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況及び次期戦略策定について

山本係長 (別紙資料に基づき説明する。)

委 員 長 説明が終わりました。

質疑ございますか。

山 口 16ページのゼロパーセントなのですけれども、他市町と比べて滝川がおくれているということなのですけれども、具体的に言うとうる政策が劣っているのでしょうか。

前田課長 このニーズ調査におきまして自由意見の記載という欄がございます。そちらのほうで多く見られましたのは、遊び場に関する要望が非常に多うございました。その中でも、例えば秩父別町のちっくるですとか、岩見沢に新しくできた施設、あるいは旭川など、市外のそういった施設に遊びに行くケースが多いので、滝川でもそういうのをつくってもらえないかというような声が非常に多かったところがございます。そして、あとは医療費等の部分におきまして、補助対象は小学生までに行っているですとか、中学生までのところもあるですとか、そういったことを考えると、滝川市はそこまではいっていないというようなお声が多かったものですから、滝川市としましてはこれまでどおりの業務自体はやっておりましたが、他市町におきまして目につくような子育て支援がこの5年間に行われたというふうに考えております。

委 員 長 ほかに質疑ありますか。

(なしの声あり)

委 員 長 それでは、報告済みとします。

入れかえのため休憩します。

休 憩 13:03

再 開 13:05

委 員 長 休憩前に引き続き会議を再開いたします。

なお、◎印については議案関連になっておりますので、ご留意願いたいと思います。

それでは、(1)、滝川市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について説明願います。

(1) 滝川市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について

岩本課長補佐 (別紙資料に基づき説明する。)

委 員 長 説明が終わりました。

質疑ございますか。

(なしの声あり)

委員長 それでは、報告済みとします。(2)、令和元年度一般会計補正予算について説明願います。

山本主任主事 (2) 令和元年度一般会計補正予算について
委員長 (別紙資料に基づき説明する。)

説明が終わりました。

質疑ございますか。

(なしの声あり)

委員長 それでは、報告済みとします。

ここで入れかえのため休憩いたします。

休　　憩　　13：10
再　　開　　13：12

委員長 休憩前に引き続き会議を再開いたします。

(3)、令和元年度介護保険特別会計補正予算について説明願います。

(3) 令和元年度介護保険特別会計補正予算について
木村係長 (別紙資料に基づき説明する。)

委員長 説明が終わりました。

質疑ございますか。

(なしの声あり)

委員長 それでは、報告済みとします。(4)、令和元年度一般会計補正予算について、3点ありますが、過年度過誤納還付金について、障害者自立支援給付審査支払等システム改修について、生活保護電算システム改修について、一括で説明願います。

(4) 令和元年度一般会計補正予算について

- ・ 過年度過誤納還付金について
- ・ 障害者自立支援給付審査支払等システム改修について
- ・ 生活保護電算システム改修について

林 係 長 (別紙資料に基づき説明する。)

高木係長 (別紙資料に基づき説明する。)

委員長 説明終わりました。

質疑ございますか。

(なしの声あり)

委員長 それでは、報告済みとします。(5)、災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について説明願います。

(5) 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について
高木係長 (別紙資料に基づき説明する。)

委員長 説明が終わりました。

質疑ございますか。

(なしの声あり)

委員長 それでは、報告済みとします。(6)、幼児教育・保育の無償化について、(7)、令和元年度一般会計補正予算について、一括で説明願います。

(6) 幼児教育・保育の無償化について

(7) 令和元年度一般会計補正予算について
前田課長 (別紙資料に基づき説明する。)

委員長 説明が終わりました。
質疑ございますか。

水 口 確認だけさせてください。歳入の1と2のところに保育料減免の分、私立3カ所、公立2カ所となっておりますが、この私立3カ所と公立2カ所はどこを指しているのかというところを確認させていただければと思います。

前田課長 私立3カ所に関しましては、事業団で運営してございます花月保育所、一の坂保育所、江部乙保育所、公立2カ所につきましては滝川中央保育所、二の坂保育所でございます。

委員長 ほかに質疑ありますか。

(なしの声あり)

委員長 それでは、報告済みとします。(8)、滝川市における子ども・子育て支援法第87条の規定に基づく過料に関する条例及び滝川市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する条例の一部を改正する条例について、(9)、滝川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する条例の一部を改正する条例について、(10)、滝川市こども発達支援センター条例等の一部を改正する条例について、一括で説明願います。

(8) 滝川市における子ども・子育て支援法第87条の規定に基づく過料に関する条例及び滝川市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する条例の一部を改正する条例について

(9) 滝川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する条例の一部を改正する条例について

(10) 滝川市こども発達支援センター条例等の一部を改正する条例について
(別紙資料に基づき説明する。)

前田課長 説明が終わりました。

委員長 質疑ございますか。

(なしの声あり)

委員長 それでは、報告済みとします。ここで一旦入れかえのために休憩させていただきます。

休 憩 13:35
再 開 13:36

委員長 休憩前に引き続き会議を再開いたします。

(11)、経営状況について説明願います。

(11) 経営状況について
(別紙資料に基づき説明する。)

金子課長補佐 説明が終わりました。

委員長 質疑ございますか。

水 口 この入院の患者数、それから外来の患者数ともに昨年もなかなか伸びてこないという中で、ことしも病棟を休床しているということはあっても落ち込みが大きいというようなこと、それから資金不足に関してもさらに広がったというような状況の中で、それを少しでも改善するための工夫をされているのかということをお聞かせいただければと思います。

堀 課 長 病院の経営改善につきましては、各委員もご存じのとおり、今回は一般会計の事業ということでありますけれども、コンサルタント会社を入れております。

この間、既にもう内部分析ですとか、あと各所属のヒアリングを終えております。現在短期施策の検討といった時期に入っております、ある程度案が今示されているところでございます。ただ、その案というのにもいかに延べ患者数をふやすのかということの中では、やはり要素的には限られているという状況になっております。今後、ある程度のまとめができておりますので、9月には今度医師のヒアリングも行いまして、かなめとなる医師個々の考え方ですとか協力をお願いしていくことになります。

水 口

水口委員からは細部にということですが、現状コンサルタント会社に入っていたきまして、経営改善に向け検討を重ねている状況でございますので、ご理解をいただきたいということでもあります。

今課長のほうからご説明をいただきました。コンサルに関しては、市長部局のほうもかなり病院と連携をしながら詳細のどういうことができるのかということをしていろいろと協議をしているということは伺っております。ただ、こちらのほうのやはり成果が出てくるというのは、まだ先というふうに見たほうがいいのかと。そういうふうにと考えると、今病院会計独自というか、病院独自でコンサルに関係なく、どういう改善、工夫をされているのかというところを聞きたいという旨の先ほどの質疑でありましたので、そういう視点でもし工夫、改善をされているところがあったらお聞かせいただきたいと思います。

椿 部 長

看護師のタスク・シフティングについては、今透析室で看護師業務を臨床工学技師が一部担うという方向で実際業務分担、割り振りを変えまして、透析室の看護師1名を外来に戻したとか、それで看護師の業務負担軽減に努めているところでございます。あと、従来からやっております医療の質の向上プロジェクトというのはずっと継続してやっております、そこで本来診療報酬で取れるべきものをきちっと取れているのかどうか。取れていないものがあつたら、どうやって取っていくのかという検討を進めまして、毎月毎月その状況を確認しながら、取れていないものは先生にきちっとオーダーを出してもらうだとか、そういうふうなことをやっているところでございます。あとは、コンサルから入院のほうをどうしてもふやしていかないとならないということがございまして、私たちも当然それは前の計画でも入院患者をふやしていかないとできないで今までできてしまった反省を踏まえて、では何ができるのかということをしてコンサルと今一緒に考えているところでございます。

畑原係長

支出のほうに関しまして、私の担当部署のほうで、これまで医療機器等を購入する場合に、やはり医師とか医療職の方の意見をかなり重要視して導入をしていたところですが、こうなるとやはり機種が選定されて割高になってしまうという傾向が分析をした結果が見えたものですから、私が来た平成29年度以降は複数の会社をきちんと競争させて、導入経費等についてもかなり適切に制限をしてやっているということは行っております。

委 員 長

ほかに質疑ありますか。

山 口

患者が減っているのですけれども、市長初め市側のというか、経営側の分析として対策を練るということなののですけれども、患者の立場からどうして来ないのかということ調べたりしていることはあるのですか。

椿 部 長

残念ながら調べておりません。

山 口

それは、やっぱり片手落ちだと思うのです。幾ら経営側のことを一生懸命分析して、こうだ、ああだと改善しても、実際に来てくれる患者さんの志向という

堀 課 長 か、気持ちを十分わかっていないと、うまくいかないのではないですか。

山 口 先ほど椿部長から答弁をしたのですが、患者満足度調査、これは毎年やっております。患者さん全員ではありませんが、外来患者、それから入院患者、それぞれ相当数の患者さんから、医師、看護師や医療スタッフの対応がどうだったか、またうちの医療機関を選んだ理由ですとか、そういったアンケート調査を実施しております。ただ、その結果というものは、病院のホームページでも上げておりますけれども、内容的には決して悪いものではなく、本当に多くの患者さんが対応はいいというようなお答えをいただいているところでございます。一般的に考えれば、患者さんにだけそうやってアンケートをとっても、ふえる要素にはならないのでないですか。来ていない人にもアンケートをとらないと、意味がないのでないですか。

椿 部 長 私がアンケートをとっていないとお答えしたのは、今委員がおっしゃった、来ていない人に対してのアンケートは残念ながら今のところとられていないと。委員のそういうご指摘がございましたので、少し研究はしたいと思いますが、なかなか来ていない方を対象にどういうふうにアンケートをとっていくかというのは考えないといけないのかなと思います。

山 口 これだけ厳しい状況が続いているのだから、それはできることというか、考えられることはすぐ実行に移していただきたいというふうに思います。

委 員 長 ほかに質疑ありますか。

木 下 外来の1日平均患者の推移を見ましたら、かなり減っているのです。どこの科が一番減っているか伺います。

椿 部 長 外来で人数を減らしている科は内科、小児科、整形外科が主なところでございます。

木 下 内科、小児科、整形ですね。小児科はわかりますけれども、内科と整形の患者が減った原因は調べてありますか。

青山課長 新規の入院患者さん等々減っているところ、外来もそうなのですけれども、疾患でいきますと内視鏡を使った結腸だとか、そういったもののポリープ系、それと循環器、あと肺炎の関係、呼吸器系ですね、そこの部分が減っております。あと、整形につきましては外傷ですね、骨折が減っております。

委 員 長 ほかに質疑ありますか。

安 樂 現在市立病院では看護師不足で病棟1つを閉鎖しているわけですがけれども、看護師確保に向けて何か今努力されているようなことはありますか。

堀 課 長 まず、1点目は、看護師の紹介会社、これを活用しております。ただ、大勢の人数ということはないのですけれども、数人、紹介会社を通じて採用の運びにはなっているところでございます。あと、コンサルタントのほうにもいろいろ分析をしてもらい、看護師のヒアリングとか離職対策とかを現在行っているところでありますが、採用の強化ということでは以前にも質問があったかと思うのですが、ほかの自治体病院でやっているような奨学金制度の創設ができないかですとか、あと看護部の中でもやっぱり業務改善ができないかだとか、組織風土に問題がないかだとか、現在そのような検討を進めているところでございます。

委 員 長 ほかに質疑ありますか。

田 村 入院、外来ともに市内、市外で何パーセントぐらいずつあるのか。病院経営というのは、滝川ばかりでなく非常に厳しいのです。なぜ厳しいかという、や

っぱり患者が自分たちで病院を選んでいるのです。ですから、何か目玉があれば、その科は絶対に来るといようなことがあるのですが、滝川には目玉医者はいないのですか。

青山課長 市内の外来延べ患者数でいきますと、割合的には今75パーセントぐらいの滝川市民の方がうちの外来に受診されております。これは、平成30年度、平成29年度を見ましても、決して減ってはいない状況です。入院の延べ患者さんに関しましても、滝川市内の割合につきましては大体7割程度、これは減ってはいない状況にあります。

椿 部 長 目玉になるようなお医者さんという話なのですが、神の手のようなお医者さんが来ていただければよろしいのですが、なかなかそういう先生は公立病院ですと来てくれるのは難しいのかなというふうに思います。

田 村 内視鏡も含めた手術数というのはどれぐらいあるのですか。
 椿 部 長 手術件数ですが、平成30年度は1,533件ございました。今年度7月までですが、475件になっています。

矢野課長補佐 私のほうから内視鏡の件数の状況を説明させていただきます。内視鏡の総件数という形になりますが、平成29年度は2,203件だったのですけれども、平成30年度は1,741件、今年度については7月は588件というような形になっています。588件ですので、前年度並みというような今年度の状況になっています。

田 村 最後に、手術の中でどういう手術が一番多いですか。
 椿 部 長 平成30年度でいえば、整形外科の手術が699件と整形外科の手術が一番多かったです。

委 員 長 ほかに質疑ありますか。
 副委員長 4月以降の看護師の退職状況を教えてください。
 鎌塚係長 4月以降の退職は、懲戒免職含めて2人です。
 委 員 長 ほかに質疑ありますか。
 (なしの声あり)

委 員 長 それでは、報告済みとします。(12)、交通事故裁判における債務不存在確認請求訴訟の提起について説明願います。
(12) 交通事故裁判(補助参加)における債務不存在確認請求訴訟の提起について

堀 課 長 (別紙資料に基づき説明する。)
 委 員 長 説明が終わりました。
 質疑ございますか。
 (なしの声あり)

委 員 長 それでは、報告済みとします。(13)、高等教育の修学支援制度の適用について(滝川市立高等看護学院)の説明を願います。
(13) 高等教育の修学支援制度の適用について(滝川市立高等看護学院)

堀 課 長 (別紙資料に基づき説明する。)
 委 員 長 説明が終わりました。
 質疑ございますか。

山 口 これは、この制度を利用する場合は入学者がみずから申請をするということですか。

大島課長補佐 今の予定では、入学者がみずから申し出るという形になっております。
 委 員 長 ほかに質疑ありますか。

(なしの声あり)

委員長 それでは、報告済みとします。(14)、ふれあいフェスタの開催について説明願います。

(14) ふれあいフェスタの開催について

鎌塚係長 (別紙資料に基づき説明する。)

委員長 説明が終わりました。

質疑ございますか。

(なしの声あり)

2 第3回定例会以降の調査事項について

委員長 それでは、第3回定例会以降の調査事項については別紙のとおりでよろしいですか。

(異議なしの声あり)

3 その他について

委員長 その他について、委員から何かありますか。

(なしの声あり)

委員長 それでは、私のほうから、前回の委員会でもお話しさせていただいたとおり、各種団体との意見交換会を実施するに当たり、11月と2月、この2回についてお配りしておりますけれども、各担当の方から説明を受けたいと思います。

副委員長 ご説明させていただきます。まずトップバッターをやれということでしたので、案として提出させていただきましたのは、市内にあります認知症の人を支える家族の会として、あけぼの会というのがございます。そこが毎月20人前後で例会を行っているという情報がありましたので、11月ぐらいがいいのではないかなという助言がございましたので、11月の例会に合わせて本町コミュニティセンターのほうで開いてはどうかということで考えております。目的は、市民の声を聞き、議会に反映させ、みんなが住みよい地域づくりを行うためです。当日の流れは、皆さんのご意見を聞いてと思ったのですけれども、まず何か基本となるたたき台があったほうがいいのかないかと思ひまして、1時間程度の時間を予定して、そこに議会のほうから出向き、団体の皆さんと意見交換会ということに考えています。テーマをつくったほうは、ただ意見交換をしてもきっととりとめない話で終わるのか、意見交換で意見を出すほうは、意見を出したのだからどうにかしてよと思って出してくるのではないのかなという思いもあり、ざっくりなのですけれども、1番から5番みたいな感じでいくのがいいのかなと考えましたけれども、皆さんのご意見をどうぞお聞かせください。

委員長 今佐々木副委員長のほうから説明ありましたが、質疑等ありますか。なければ、このまま進めたいと思いますがいかがですか。

安 樂 各グループに分かれて意見交換しと、何グループぐらい。議員10名いるのですよ。20人ですよ。だから、例えば議員が2ないし3人で、あと20人を割っていくとか、テーマは同じテーマで話し合っ、グループからの発表ということで、発表は当然我々ではなくて、あけぼの会の方たちが発表するという認識なのか。

副委員長 意見交換会というときに、こうやって机でこっちとこっちでしゃべってくださいと言っても、きっと話しづらいのではないかなと思って考えたのが、グループ分けして、そこでざっくばらんな市民のふだん思っている困り事とか、私たちが気づいていないこともあるかもしれないからと話しやすい雰囲気づくりと

ということでグループ分けと考えてみたのです。

水 口 厚生常任委員会のこの10人があけぼの会の人方の活動をどれだけ熟知をされていて、どれだけこの厚生常任委員会のメンバーがこのことをテーマに議論に参加できるかという、まずその議論を確認したほうが僕はいいと思うのです。そして、さらに申し上げるならば、ただの陳情会になってしまうということが一番懸念をされますので、私は今の2点についてもっと慎重な議論が必要なのではないかなと思います。

山 口 家族の会と書いてありますけれども、いつも例会に来ているのは認知症の本人が一番多いのですか。

副委員長 家族の人が多いわけではないのです。本人もいます。

山 口 本人もいるけれどもというか、最近本人が多いのですけれども、この間私の番組に出てもらったばかりなので中身はわかるのですけれども、そんなに話し合える人たちが、役員以外はいるとは思えないのですけれども、大丈夫でしょうか。

副委員長 そもそも私が聞きたいのは、厚生常任委員会がみんなと意見交換したい、地域の人と意見交換したいという、その何か大きい要綱があるのですか。それで、陳情会にならないためというのは、では過去にどういうふうにしているのだろうかというところと、陳情会ではないけれども、市民がどう考えているか、何に困っているかを知りたいのですよね。

委 員 長 厚生常任委員会としては、過去に市民団体と意見交換会というのは私の記憶ではないのですが、今回のこの取り組みは、議長もやはり議会としても各種団体に出向いて、それぞれのご意見なりを伺いながら、我々予算執行権がないので、聞いたからといって全てそれやりますからというふうにはならないのですけれども、各自議員としてはそういう意見があるということを捉まえて議会活動に生かしていけるのではないだろうかとは思っております。どうでしょうか。

木 下 この会の会長さんをよく知っているのですけれども、この人たちは自分の車でそのうちに行って、そしてハイヤーで病院に送って行って、その人を病院の受け付けから全て車椅子で、そういう人たちが七、八人か10人ぐらいいるのかな。そういう仕事というか、そういうボランティアをしている会なのです。

副委員長 違います。それは、ぽっけです。通院介助しているのがぽっけというボランティアです。須田さんは、ぽっけにも入っているけれども、あけぼの会にも入っています。

木 下 両方入っているのですか。私、そういうボランティアをしているのが家族の会かなと思ったものだから、済みませんでした。

安 樂 水口委員からもあったのですけれども、やっぱり事前にこういう会とやる時には基礎知識というか、我々もわかっていないと、はっきり言って会話にもならないし、全然意見交換にもならないと思うのですけれども、やっぱり最初の段階で10回やると委員長のほうからありまして、各自に振ってやっている状況なので、ある程度委員長、副委員長で流れはこういう形でというのをつくってもらって、それを各自に渡して、その中で相手を選んで、テーマを選んで絞っていくというのが本筋ではないかなと思います。

山 本 他団体との意見交換も非常に結構な話なのですけれども、例えばテーマを決めるときに、この滝川市内の現状はどうなっているのかということを私ども議員が先にやっぱり情報として所管からでも調査して、それを頭にちゃんと入れた

上でないと、ある程度知識を持って相手方と対応しないと、とりあえず相手から聞いたことをわかりました、何とか私たち議会で頑張りますと私たちは答えられないわけなので、その辺も市民の皆さんといろんなものを共有するのであれば、先にそのテーマに向けて私どもも学習することが先ではないかなと思うので、それも含めた形の中の意見交換でないとだめでないかなと思いますので、よろしくお願いします。

委員長

それでは、一旦休憩します。

休 憩 14:25

再 開 14:35

委員長

休憩前に引き続き会議を再開します。

それでは、次の委員会はまだ決まっておられませんけれども、11月、これは日には未確定です。あくまでも相手の団体の都合もありますので、あけぼの会と意見交換会をしたいと思っております。日程については、11月15日ぐらいかなと。それと、場所については本町コミュニティセンター、目的についてはそういう支える家族のお話を聞きながら、委員各自がどのようなご意見を持っているか、そういうようなことを交換していきたいなと思っております。内容については、担当の方、そして委員長、議長、副議長というような中で少し詰めていきたいと思っております。事前に皆さんのほうにはお知らせしたいと思っております。

続きまして、2月を予定しているのですが、滝川市老人クラブ連合会との意見交換会、これはまだ案です。決定ではないので、皆さんのご意見をいただいて、それに向かって進めていきたいと思っておりますけれども、堀委員のほうから説明していただけますか。

堀

これは、先方にまだ全然打診も何もしていません。私が考えている段階でございます。今老人クラブというのは、高齢化が進んで人口的にはふえているのに、クラブ自体は減っているのです。そういうのを一番理解しているのは、滝川市の老人クラブ連合会が把握しているのでないかとまず思っています。やっぱり老人クラブというのは、町内会とは違ってまめに会合、例えば私の東町だったら毎週水曜日をクラブの日にして公民館を使っているわけですが、そういうときに誘い合って現実動いているのです。本当に1人で住んでいる高齢者の人なんかは、行ったらやっぱりそこで30分ぐらい話しをするみたいです。認知症にしても何にしても、孤立した老人がふえていくというのは認知症のためにも健康のためにもいろんな面できつとまずいのだろうというような観点から、老人クラブを推進して啓蒙していくのが滝川市のためにはいいのでないかなと一つは考えています。そういう意味では、この老人クラブの減少の課題だとかのお話を聞かせてもらったりするのもいいのでないかなという素朴な案でございます。

委員長

説明が終わりましたがけれども、何かありますか。

今高齢者の方々が抱えている問題ってさまざまあると思っておりますけれども、先ほどの認知症のことだとか、あるいはひとり住まいの高齢者については、ある日突然倒れて亡くなってしまうという方もこの滝川でも発生しておりますけれども、そういうような悩みだとか、そういったことをテーマに掲げながらやっていきたいのだという堀委員からの説明です。

まだ先の話なので、もうちょっと煮詰めていくことは可能なので、こういう団

体とやりたいということで、このまま引き続き進めさせていただいてよろしいですか。

(異議なしの声あり)

委員 長
村井係長

それでは、視察の関係で事務局から説明があります。
厚生常任委員会の行政視察について、調査事項の先方先との調整がつきましたので、ご連絡させていただきます。日程は、以前お話しいたしましたとおり10月2日から4日の2泊3日となっております。調査事項としては、Share金沢と金沢広域急病センターについてということになっております。詳しくは、日程表をごらんいただきたいと思います。前日10月2日は移動のみ、3日が視察となっております。午前11時から1時半までShare金沢で視察。その後、金沢市役所で視察ということになっております。翌日、滝川に戻ってくるというような2泊3日の日程となっております。

委員 長

説明が終わりました。皆さんから何かありますか。

(なしの声あり)

4 次回委員会の日程について

委員 長

それでは、次回委員会の日程なのですが、正副委員長に一任いただきたいと思います。よろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

委員 長

それでは、第4回厚生常任委員会を閉会いたします。

閉 会 14:46